

追跡

1年前の

あの質問は
どうなった？



敷地を購入予定の勤労者センター



勤労者センターの存続 について問う

町は勤労者センターの敷地をJA佐波伊勢崎に返還し、世代交流多目的施設を建設するとしていたが、方針を転換するのか。



財政状況が厳しい中、代替施設の建設には多額の費用が見込まれるため、勤労者センター施設の継続使用を図ることにした。平成29年10月6日に、JAに用地取得の協議を申し入れ、協議を開始している。



平成30年度一般会計予算に土地購入費等4715万円が計上されました。

現在JA佐波伊勢崎と価格についての協議が行われており、平成31年1月中旬に測量が実施される予定となっています。

JAしばね支店跡地 活用計画は

JAしばね支店跡地の活用については、平成25年から毎年質問が出ており、芝根地区の区長からは平成27年2月に請願が出されました。直近では平成29年12月議会で下記の質問が出されました。

JAしばね支店跡地取得について、どのような所まで進んでいるのか。



さまざまな可能性を検討してきたが、多額の費用を投入することが想定され、町の財政状況を勘案すると有効活用が見いだせないでいる。



ゲリラ豪雨等を想定した水害対策として水防センターの整備計画が生まれ、平成30年度一般会計予算に土地購入費等3129万円が計上されました。

平成30年11月27日に、JA佐波伊勢崎と土地の売買契約が結ばれました。現在水防センターの設計が行われ、平成31年度に着工予定となっています。